

## 露地栽培『アガリクスKA21』、育毛作用に引き合い 日本抗加齢協会学術フォーラムにも登壇

東栄新薬

東栄新薬㈱(東京都三鷹市)は、オリジナルのアガリクス原料『アガリクスKA21株』について、抜け毛の改善や育毛作用に大きな関心が寄せられ、ここ数年ヒト向けサプリメントへの採用はもちろん、ペット向け食品などに採用されるなど、供給量を順調に伸ばしている。

今月6日には、日本抗加齢協会第9回学術フォーラムの「薄毛・育毛に迫る」をテーマにしたシンポジウムに同社代表取締役の元井章智氏が登壇。パネリストとして、「アガリクスKA21株」の薄毛、育毛作用について紹介する。また、日本抗加齢協会が主催する「第1回サニーヘルス 若返り貢献賞」に、露地栽培アガリクスKA21株がファイナリスト素材として選出。貢献賞の受賞にも大きな期待がかかる。

脱毛対策についてはここ数年同社も研

究に力を入れており、抜け毛改善や男性の勃起不全の改善をテーマにAGA治療薬のサポート領域でエビデンスを構築。11月に開催された第30回日本臨床毛髪学会では、一般演題として「露地栽培アガリクスKA21株の抜け毛・勃起不全(ED)の改善作用～AGA治療薬のサポートとしての可能性」と題し、発表を行った。内容は、50歳以上、70歳未満の男性24人に対し、KA21を1日900mg、2ヵ月間経口摂取させた結果、自己評価アンケートによる抜け毛、EHSによるEDの有意な改善が確認された。また、男性更年期障害に関するAMSの各項目として、不安感、憂うつな気分、性欲の低下、性的能力の衰えなどで有意な改善が確認されたという。同社ではこれらの結果を基に、ヘアケア領域、メンテック領域への提案を強化していく。